

# 児童手当などの 受給申請は 早めに

児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当の該当者でまだ受給されていない方は早く手続きをして下さい。各手当は次の場合に申請の翌月分から支給を受けられます。

### 児童手当

18歳未満の児童を3人以上(そのうち1人以上が義務教育終了前の児童であることを養育している人に、手当は月額5千円支給されます。手続には印鑑・年金証書番号・請求者の銀行預金口座番号が必要です。

### 児童扶養手当

父と生計を同じくしていない18歳未満の児童(父母が離婚。父の死亡・生死不明・遺棄・拘禁。婚姻によらない出生。父が一定の廃疾の状態にある等の児童)を養育している人に手当は児童1人の場合月額19,500円(8月分から21,500円)、2人の場合21,500円(8月分から23,500円)、3人以上の場合1人につき月額400円を加算した額が支給されます。なお父または母の死亡により公的年金を受けている場合には支給されません。

手続には印鑑・戸籍謄本・家族全員の住民票が必要です。

### 特別児童扶養手当

身体機能の障害や、知恵おくれのために法律で定める1級又は2級に該当する重い障害がある20歳未満の障害児を養育している人に、手当は現在1級障害で月額22,500円(8月分から24,800円)、2級障害で月額15,000円(8月分から16,500円)支給されます。

手続には印鑑・戸籍謄本・家族全員の住民票・身体障害者手帳・療育手帳等が必要です。

これらの手当にはそれぞれ一定の所得制限があり、養育者の収入が一定額以上であるときは支給されません。

なお、くわしいことは役場福祉課へお問い合わせ下さい。

水田利用再編対策、米価の据置き、肉類・果汁の輸入拡大、農業をめぐり厳しい諸情勢のもとに、七月十四日に予定されていた農業委員選挙は、定員二十名に対し届出が同数の二十名であったため次出の人が無競争で当せんし、会長に



## 会長に高橋喜一氏(巻)が 会長代理は青山久男氏に

### 農業委員会委員選挙、無競争

は高橋喜一氏(巻)。会長代理に青山久男氏(巻)。新潟県農業会議員に藤由徳一氏(巻)がそれぞれ互選されました。

- 以下敬称略。
- 一箭武夫(巻) 山際和栄(巻)
  - 本間二平太(巻) 五十嵐都也(巻)
  - 戸枝勝蔵(巻) 山本三代司(巻)
  - 小柳辰一(巻) 駒沢正衛(巻)
  - 鷲尾寿夫(巻) 山際知一郎(巻)
  - 丸山基代司(巻) 鳴海昇八(巻)
  - 土田寿(巻) 白井一鶴(巻)
  - 久保田辰治(巻) 那須野惣八(巻)
  - 藤橋十三男(巻)

## くらしと国民年金

### 公共施設などの建設に

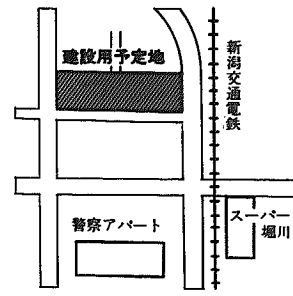
### 大きな力

国民年金が昭和三十四年に生まれ、「国民皆年金」になってから今年で十八年目を迎えました。現在、国民年金には日本の全人口の四分の一にあたる二千六四六万人の大勢の人々が加入しています。一方、お年寄りに支給されている老齢年金についてみてみると、六十五歳以上の総人口九一七万人のうち国民年金から年金を受けている人は七五〇万人(老齢、通算年金三九八万人、老齢福祉年金三五二万人)にのぼります。

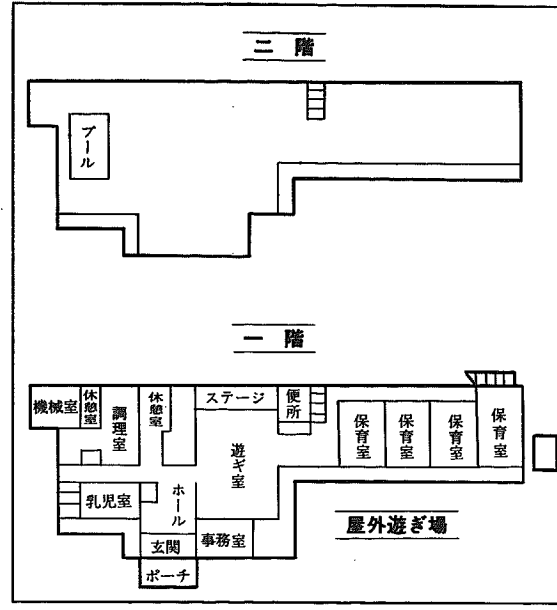
給者、地域のみなさんの福祉の向上を図るため、生活資金や住宅建築資金の貸付け、あるいは市町村などに対して病院・保育所・老人ホーム・体育館・簡易水道など、公共福祉施設の建設資金の融資も行っています。本町でも、この融資を受けて建設された一番新しい施設として、町民総合体育館がその一つ。また現在、建設中の山田保育所は、用地費を含め九千八〇万円の融資を受け建設の予定です。

# 山田地区に保育所 完成すると公立は七か所

## 来春開所



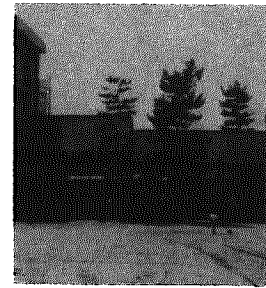
山田地区に鉄筋コンクリート一部二階建、一〇〇人収容の保育所が建設されます。ご存知のように、この地域は急速に宅地造成が進み、人口も大幅に増大し、幼児はスクールバスで寺地・大野・善久保育所へ分散入所しているのが現状です。今回、これらの不便を解消し、幼児教育の一層の充実を図るた



め建設するもので、敷地三千㎡内に鉄筋コンクリート一部二階建の(八六一㎡)冷暖房を完備したデラックスな保育所が明春開所します。この入札が、七月七日行われ、八千五百五十四円で、吉田建設工業(株)が本体を、電気設備工事は七〇〇万円で、大明電業(株)が、給排水衛生及冷暖

## 山田小学校も 一部を改築

鉄筋4階に



房設備工事は、一千二七〇万円で東芝空調機(新潟市)でそれぞれ工事が行われます。これが完成すると、公立保育所は七か所となり、保育所設置率は県内でもトップクラスに入り、共働きの多い、この地域の父兄から早期完成が望まれています。

## 季節の話題 長寿国日本

昭和四十一年から始まった九月十五日の「敬老の日」は、十二年の歳月を経て定着してきました。これは養老元年(七二七)九月、元正天皇が「養老の滝」を訪ねられた故事にちなんで選ばれたといふことです。

わが国の平均寿命は男七十二・一五歳、女七十七・三五歳で、世界でも長寿国のトップクラスにいるわけだ。さて、その長寿への秘訣といふものがあるかどうか。老人医学の先生はつぎのように言っています。「長生きするには過栄養をさけて、腹六分から八分程度におさえ、頭もからだも適度に鍛錬することです。」